



令和2年6月2日更新版

緊急事態宣言解除後「新しい生活様式」に基づく

感染拡大防止予防に関するガイドラインに準拠した大会のボランティア活動ガイド

私たちは、スポーツボランティアとして「参加者ランナー」及び「応援の方々・一般の方々」、そして私たち「ボランティア仲間を含むスタッフ全員」、この3者が安全に大会を楽しむために、「新しい生活様式」にもとづいた「スマートマラソン」を理解してボランティア活動に臨みましょう。

新しい「スマートマラソン」方式では、

スタート時間が自由な「スマートマラソン」を行います。

これが運営ボランティアとしては一番理解しておく重要なポイントです。

<参考>参加者へは以下のホームページの右袖の上にある

* 「スマートマラソンのご案内」 ……A

* 「感染防止のためのチェックシート」 ……B

をご案内しています。参考にボランティアの方も確認しておきましょう。

<http://aozorarun.com/home/>

参加の前に、以下確認をして大会当日のミーティングで疑問は解決するようにしましょう。

※以下に「スマートマラソン」ボランティア活動のポイントを紹介します。

◆大会運営の基本方針：<With Corona>◆

三つの密の条件が同時に重なる状態を回避します。

- 1.密閉空間（換気の悪い密閉空間である）
- 2.密集場所（多くの人が密集している）
- 3.密接場面（近距離での会話や発声が行われる）

※会場でこの3つが守られるように行動しましょう。

■ 1. 参加者の分散

政府及び自治体の屋外イベントガイドラインを順守することとし、一日の大会イベントを午前・昼・午後の3部制として、三つの密が重ならないように参加者の分散を工夫して開催します。

それぞれの個別の大会により種目設定は異なりますがモデルケースとして当面以下のように設定します。

第1部： 個人走種目の実施

第2部： 親子マラソン（ジャンプ！+ファイト！）の実施

第3部： リレーマラソン ハーフ&フルの実施

※各部は受付時間帯、スタート時間帯が重ならないようにします。

■ 自由な受付・スタート時間

マラソン大会で最も混み合う一つがスタートです。密集・密接を回避するために、スタート時間設定枠の中で自由（※1スマートスタート）にし、各自のスタート時点からタイム計測する方式（※NET タイム計測方式）を採用します。一日を午前・昼・午後の3部門に分けて、受付も時間枠を分けて、種目ごとに好きな時間に来て参加できるようにします。

<スマートスタートの例>※1

自分の都合や走力に合わせて受付時間、スタート時間を選択できます。

・第1部（午前）

個人走全種目 5 km、10 km、20 km、30 kmなど

受付時間 7時30 ～10時

スタート時間 8時 ～10時30分

制限時刻 11時30分

・部門2：（昼）

1 km（など）親子マラソン

受付時間 11時 ～11時40分

スタート時間 11時30分～12時

制限時刻 12時20分

・部門3：（午後）

リレーマラソン ハーフ フル

受付時間 12時 ～13時

スタート時間 12時30 ～14時30分

制限時刻 17時00分

※参加者がまごつからないようにスムーズな案内のために、種目スケジュールの理解に努めましょう。

各スタートの間隔は 30 秒から 45 秒を目安とします。

■記録および記録証のネット配信

運営スタッフと参加者の接触機会を減らすために、紙の記録証から WEB・ネットで提供する方式とします。ゴール後、すぐにスマホで見られる速報記録と、大会終了後、ネットでデジタ (PDF) 記録証をご利用できます。もちろん競技中のリアルタイム速報サイトも運用します。

※NET タイム計測方式：計測マットを通過した時点から、ゴールした時点までを計測する方法です。したがって、「よういドン」で全員が同じスタート時刻になる場合と異なり最終ランナーがゴールしないと順位が確定しません。

※会場でボランティアのみなさんも速報サイトをスマホで確認してみましょう。

■キープステーションの設置

参加者との接触及び感染リスク及び、ごみによる感染リスクを低減するために給水・エイドコーナーはコース上に設置をいたしません。ドリンク・食べ物等必要なものは各自持参をお願いします。なお、参加者手荷物「キープステーション」用意します。密にならないように各自が給水スペアボトル飲料、補給食等自分のバックや袋を置き自由に取り出しできるようにします。置くバックなどには、ゼッケン番号を記入した荷札を取り付けていただきます。

ごみは各自密閉して持ち帰るようにしていただきます。必ず、ごみを密閉するビニール袋を持参してごみが散乱しないようにしていただきます。

緊急用の給水については、救護ブースで管理します。

※感染リスクを増大しないように、「ゴミを出さない」を率先して徹底しましょう。

※なお、飲み残しのボトルの中身を会場で路上やその他会場敷地など禁止します。

※キープステーションの運営もボランティア活動のあたらしい活動です。密にならないように気を配りましょう。必ずマスク、衛生手袋（本部が準備）着用必須です。

■更衣について

3つの密を回避するために、出走前の更衣テント等の設置は致しません。参加者へは更衣テントがなくても出走できる準備で来ていただきます。

ゴール後流れ解散です。帰りの更衣テント等は設置しますが、利用人数制限、定期的換気、消毒などのため、利用禁止時間の設定などを設けます。

※利用制限で行列ができる場合は、人と人の間隔を 2 m 確保するように案内しましょう。

■ボランティアスタッフの遵守事項

<運営本部からのお願いと自己管理について>

1. 受付スタッフをはじめ、大会スタッフはマスク等を着用します。この励行をご了承ください。マスクは持参をしてください。
2. 当日、ミーティング前に検温を受けていただきます。37°C 以上の場合は救護スタッフから確認質問などを受けていただきます。場合によってはボランティア参加を見送っていただく場合があります。あらかじめご了承ください。
3. 会場ではこまめな手洗い、アルコール等による手指消毒を実施すること。手拭きなどのマイタオルを必ず持参することをお願いします。
4. 他の参加者、主催者スタッフ等との距離（できるだけ2mを目安に（最低1m））を確保するよう心掛けてください。
5. イベント中に大きな声で会話、応援等をしないことに努めてください。
6. イベント終了後2週間以内に新型コロナウイルス感染症を発症した場合は、主催者に対して速やかに濃厚接触者の有無等について報告してください。
7. 以下の体調の確認チェックアンケートを当日ボランティア参加受付で提出していただきます。

（イベント前2週間における以下の事項の有無）

- ・平熱を超える発熱
- ・咳（せき）、のどの痛みなど風邪の症状
- ・だるさ（倦怠（けんたい）感）、息苦しさ（呼吸困難）
- ・嗅覚や味覚の異常
- ・体が重く感じる、疲れやすい
- ・新型コロナウイルス感染症陽性とされた者との濃厚接触の有無
- ・同居家族や身近な知人に感染が疑われる方がいるか、否か。
- ・過去14日以内に政府から入国制限、入国後の観察期間を必要とされている国、地域等への渡航又は当該在住者との濃厚接触があるか、否か。

以上